

(1) 予防接種事業

目的	ワクチン接種により免疫力をつけ、疾患の発生及び集団でのまん延を予防する。																																				
平成27年度実績	<p>1. 定期予防接種・・・予防接種法に基づき市長が行う</p> <p>【A類疾病】 努力義務</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三種混合（ジフテリア、破傷風、百日咳） ②四種混合（ジフテリア、破傷風、百日咳、ポリオ） ③二種混合（ジフテリア、破傷風） ④不活化ポリオ ⑤BCG（結核） ⑥麻しん・風しん ⑦水痘 ⑧日本脳炎 ⑨H i b感染症 ⑩小児の肺炎球菌感染症 ⑪ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防） <u>※積極的勧奨は行わない。</u> ⑫水痘 <p>○麻しん・風しん（平成28年2月末現在）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">乳幼児Ⅰ期</td> <td style="padding-left: 20px;">133人／183人（72.7%）</td> <td style="text-align: right;">1,443,981円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">乳幼児Ⅱ期</td> <td style="padding-left: 20px;">205人／222人（92.3%）</td> <td style="text-align: right;">2,225,685円</td> </tr> </table> <p>○日本脳炎（平成28年2月末現在）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼児</td> <td style="padding-left: 20px;">437件</td> <td style="text-align: right;">3,305,468円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">学童</td> <td style="padding-left: 20px;">244件</td> <td style="text-align: right;">1,647,976円</td> </tr> </table> <p>【B類疾病】 努力義務なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ①季節性インフルエンザ（65歳以上の高齢者） ②高齢者の肺炎球菌感染症 <p>○高齢者インフルエンザ予防接種事業（平成28年2月末現在）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">助成額</td> <td style="padding-left: 20px;">5,008人</td> <td style="text-align: right;">14,638,324円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">償還払い</td> <td style="padding-left: 20px;">2人</td> <td style="text-align: right;">4,900円</td> </tr> </table> <p>○高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費用助成事業（平成28年2月末現在）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">助成額</td> <td style="padding-left: 20px;">283人</td> <td style="text-align: right;">1,496,940円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">償還払い</td> <td style="padding-left: 20px;">0人</td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> </table> <p>2. 任意予防接種</p> <p>○子どもインフルエンザ予防接種事業（平成28年2月末現在）</p> <p>0～15歳（中学3年生）に対して接種費用の一部を助成した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">助成額</td> <td style="padding-left: 20px;">2,049人</td> <td style="text-align: right;">2,049,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1回目</td> <td style="padding-left: 20px;">1,263人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">2回目</td> <td style="padding-left: 20px;">786人</td> <td></td> </tr> </table> <p>○妊娠安心風しん予防接種事業（平成28年2月末現在）</p> <p>「先天性風しん症候群」の発生を予防し、女性が将来も安心して妊娠・出産できるように、妊娠を希望する者と抗体価が低い妊婦の同居者を対象に接種費用の全額を助成した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">接種者</td> <td style="padding-left: 20px;">4人</td> <td style="text-align: right;">38,392円</td> </tr> </table>	乳幼児Ⅰ期	133人／183人（72.7%）	1,443,981円	乳幼児Ⅱ期	205人／222人（92.3%）	2,225,685円	幼児	437件	3,305,468円	学童	244件	1,647,976円	助成額	5,008人	14,638,324円	償還払い	2人	4,900円	助成額	283人	1,496,940円	償還払い	0人	0円	助成額	2,049人	2,049,000円	1回目	1,263人		2回目	786人		接種者	4人	38,392円
乳幼児Ⅰ期	133人／183人（72.7%）	1,443,981円																																			
乳幼児Ⅱ期	205人／222人（92.3%）	2,225,685円																																			
幼児	437件	3,305,468円																																			
学童	244件	1,647,976円																																			
助成額	5,008人	14,638,324円																																			
償還払い	2人	4,900円																																			
助成額	283人	1,496,940円																																			
償還払い	0人	0円																																			
助成額	2,049人	2,049,000円																																			
1回目	1,263人																																				
2回目	786人																																				
接種者	4人	38,392円																																			

課題	<ul style="list-style-type: none">・麻しん・風しんの流行を防ぐために、接種率の目標値は95%以上に設定されている。対象者には個別通知による接種勧奨を行っており、乳幼児健診・相談の場面でも個別指導を行っている。未接種者に対しては、年2回（7月・12月）のハガキ通知による接種勧奨を行い、小学校就学前までに接種完了するように努めているが、接種率は目標値に到達していない。・日本脳炎は、満3歳になる月に個別通知による接種勧奨を行っている。また、27年度は高校3年生相当の者が国の定める積極的勧奨の対象であったことから、個別通知を行った。・高齢者の肺炎球菌感染症予防については、年2回（9月、1月）の市報掲載と行政放送（うれしのほっとステーション）、総合がん検診でのチラシ配布により費用助成事業の周知を行った。・今後も、健診・相談での個別指導や個別通知、市報や行政放送等による各種媒体を活用して、接種勧奨と制度の周知に努めたい。
----	--

(2) 母子保健事業

目的	各種健診や相談の実施により、母親と子どもの健康の保持増進を図る。												
平成27年度実績	<p>1. 妊婦健康診査</p> <p>妊婦1人あたり14枚の健診票を交付する。(差替え者は14枚とは限らない) (平成28年2月末現在)</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助券交付実人員</th> <th>補助券交付延枚数</th> <th>受診した実人員</th> <th>再掲)償還払実人員</th> <th>受診した延人員</th> <th>再掲)償還払延人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150件</td> <td>2,024枚</td> <td>254件</td> <td>9件</td> <td>1,727件</td> <td>47件</td> </tr> </tbody> </table>	補助券交付実人員	補助券交付延枚数	受診した実人員	再掲)償還払実人員	受診した延人員	再掲)償還払延人員	150件	2,024枚	254件	9件	1,727件	47件
	補助券交付実人員	補助券交付延枚数	受診した実人員	再掲)償還払実人員	受診した延人員	再掲)償還払延人員							
	150件	2,024枚	254件	9件	1,727件	47件							
	<p>2. 保育緊急確保事業</p> <p>・乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)</p> <p>生後2か月の赤ちゃんの家庭を訪問し、その家庭において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うことで子育ての孤立化を防ぎ、支援が必要な家庭には適切なサービスに結びつける。 母子の観察を行なうと共に「エジンバラ産後うつ病質問票」等を用いて、産後うつ早期発見に努めた。 (平成28年2月末現在)</p>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>訪問件数</th> <th>観察を要する人</th> <th>(その後の対応)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>169件 (内訳) 委託 150件 市 19件</td> <td>25件</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・継続訪問 ・赤ちゃん相談への参加勧奨 ・心理士の相談(すくすく親子相談)の紹介 </td> </tr> </tbody> </table>	訪問件数	観察を要する人	(その後の対応)	169件 (内訳) 委託 150件 市 19件	25件	<ul style="list-style-type: none"> ・継続訪問 ・赤ちゃん相談への参加勧奨 ・心理士の相談(すくすく親子相談)の紹介 							
訪問件数	観察を要する人	(その後の対応)											
169件 (内訳) 委託 150件 市 19件	25件	<ul style="list-style-type: none"> ・継続訪問 ・赤ちゃん相談への参加勧奨 ・心理士の相談(すくすく親子相談)の紹介 											
<p>・養育支援訪問事業</p> <p>概ね生後1年までの乳児がいる家庭で、産後うつ等で自力での育児が困難な家庭に、ヘルパーの派遣を行なうほか、その他の必要な援助に結びつけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産後間もない時期(概ね1年程度)の養育者が、育児ストレス、産後うつ状態、育児ノイローゼの問題によって子育てに対して強い不安や孤立感等を抱える家庭等。 ・食事、衣服、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭等、虐待のおそれやそのリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭。 <p>(平成28年2月末現在)</p> <p>① 専門的相談支援(保健師、看護師等)・・・対象家庭11件、訪問回数33回</p> <p>② 育児家事援助の実施(ヘルパー)・・・実績なし</p>													

平成
27
年
度
実
績

3. 乳幼児健康診査

・乳児健康診査

乳児1人につき2枚の健診票を交付する。
1枚目3～4か月、2枚目9～10か月頃に使用。
(平成28年2月末現在)

交付枚数	受診実人員	受診延人員
317枚	213件	236件

・1歳6か月児健康診査

(平成28年2月末現在)

対象者	受診者	未受診者	精密検査	相談等の紹介	要観察
192件	186件	6件	4件	16件	56件

・3歳児健康診査

(平成28年2月末現在)

対象者	受診者	未受診者	精密検査	相談等の紹介	要観察
179件	173件	6件	6件	18件	50件

- ・1歳半健診、3歳児健診においては、発達障害等の早期発見・早期療育を目的として「発達スクリーニング検査」を実施している。
- ・ことばの遅れ・多動（落ち着きがない）・こだわり・かんしゃく等があり不安や問題を抱えている子どもや保護者に対し、心理士による個別相談・ことばの相談、専門機関（医療機関・療育機関）等を紹介している。
- ・観察が必要なケースには、電話による状況確認や、言語聴覚士や療育指導員とともに保育園を訪問し（月に1回程度）経過を観察している。支援が必要と判断した場合には心理士による相談やことばの相談を紹介し、支援を継続している。
- ・未受診者には受診勧奨を行い、受診困難な場合（母親がうつ傾向・ネグレクト等）には訪問を実施。また、保育園等と連携して情報収集を行うことで、未受診者の把握に努めている。現在、全く情報が得られていない未受診者はいない。

課
題

- ・支援の必要なケースの問題が重度化している。母親の問題（うつ等の精神疾患）とともに、家庭環境（母子家庭や貧困）など問題が複雑で困難な事例が多い。
- ・発達障害は保護者にとって気づきにくく、気づいている場合でも受け入れが難しい傾向にあり、早期の支援につなげることが困難である。根気強く保護者と話をして気づきを促したり、また他職種（保育士・心理士・言語療法士など）との連携を図りながら支援の方法を考えていく必要がある。
- ・健診後に相談等紹介するケースが増えてきているが、療育のための専門機関の数が限られており、適切な場所へつなげられているのか、児に見合った支援ができているのか疑問に残る。

(3) 不妊・不育症治療費助成事業

<p>目的</p>	<p>生殖補助医療による不妊治療を受けている夫婦の経済的・精神的負担を軽減する。 また、不育症（妊娠しても流産を繰り返し出産に至らない）で子どもを持つことが困難な夫婦に対し、費用の一部を助成することにより経済的負担の軽減を図る。 不育症の治療費に対する助成は、平成27年度からの実施。</p>																					
<p>平成27年度実績</p>	<p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍法第74条の規定による婚姻の届出を行った夫婦又は住民基本台帳法に規定する外国人住民のうち婚姻中の者。 ・体外受精又は顕微授精以外に妊娠が望めないと医師に診断されている。 ・夫又は妻のいずれか一方が本市に1年以上住所を有していること。 ・夫及び妻の前年の所得の合計が730万円未満。 ・佐賀県不妊治療支援事業実施要綱に規定する佐賀県知事が指定する医療機関において不妊治療を受け、かつ、佐賀県不妊治療支援事業承認決定通知の交付を受けている。 <p>対象経費</p> <p>女性の不妊治療 指定医療機関で受けた採卵準備のための投薬から、体外受精又は顕微授精に至るまでの治療に要した経費。</p> <p>男性の不妊治療 女性の不妊治療の一環として行われた治療で、精巣内精子生検採取法（TESE）及び精巣上体内精子吸引採取法（MESA）など、精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術等に要した経費。</p> <p>助成金額、助成回数及び助成期間</p> <p>女性の不妊治療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金額・・・対象経費から佐賀県不妊治療支援事業助成額を控除して得た額と10万円を比較して少ない方の額。（最高10万円） ・助成回数・・・初年度は3回、次年度以降は年2回まで。通算10回まで。（開始年度・年齢により制限有り） ・助成期間・・・通算して5年度を限度。 <p>男性の不妊治療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金額・・・1回の治療につき助成対象経費の2分の1の額。（最高10万円） ・助成回数・期間・・・女性の不妊治療に準ずる。 <p>事業実績（平成28年2月末現在）</p> <table border="0"> <tr> <td>女性の不妊治療</td> <td>20件</td> <td>1,932,680円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(内訳)</td> <td>新規8件、継続12件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20代 1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>30代 13件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>40代 6件</td> </tr> <tr> <td>男性の不妊治療</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>妊娠成立</td> <td>5件</td> <td>(申請者のうち25%)</td> </tr> </table>	女性の不妊治療	20件	1,932,680円		(内訳)	新規8件、継続12件			20代 1件			30代 13件			40代 6件	男性の不妊治療	0件		妊娠成立	5件	(申請者のうち25%)
女性の不妊治療	20件	1,932,680円																				
	(内訳)	新規8件、継続12件																				
		20代 1件																				
		30代 13件																				
		40代 6件																				
男性の不妊治療	0件																					
妊娠成立	5件	(申請者のうち25%)																				

平成27年度実績	<p>2. 不育症治療費助成事業</p> <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍法第74条の規定による婚姻の届出を行った夫婦又は住民基本台帳法に規定する外国人住民のうち婚姻中の者。 ・厚生労働省不育症研究班に属する医療機関（これと同等の能力を有する医療機関を含む）において、不育症と診断され、治療の必要が認められている。 ・夫又は妻のいずれか一方が本市に1年以上住所を有している。 ・夫及び妻の前年の所得の合計が730万円未満。 ・夫及び妻に市税の滞納がない。 <p>対象経費 指定医療機関で受けた保険診療対象外の不育症治療等に係る治療費。</p> <p>助成金額 1 治療期間又は1年度につき30万円を限度</p> <p>実績 0件</p>
課題	<p>不妊治療費助成事業については、女性の不妊治療の継続申請が多く、年代別では30代後半の申請が多い傾向であった。</p> <p>また、男性の不妊治療費助成事業については、3月に入り助成実績が1件あった。</p> <p>不育症治療費助成事業については、相談が1件あったが、助成対象外の治療であったために、申請には至らなかった。</p> <p>妊娠を希望する方ができるだけ多くの機会を得られるように、広報周知に努める。</p>

(4) 妊婦歯科健康診査事業

目的	<p>妊婦の歯周疾患の予防と早期発見に努めることにより、早産・流産の予防に努める。</p> <p>また、妊娠期からの歯科衛生教育を行うことで、生まれてくる赤ちゃんのむし歯予防につなげる。</p>
平成27年度実績	<p>対象者 母子健康手帳交付を受けた妊婦に対し1妊娠期間につき1回で、交付の日から出産の日の前日まで</p> <p>対象経費 1回あたり6,566円</p> <p>実施医療機関 市内の委託医療機関</p> <p>受診者数 (平成28年1月末現在) 71人 466,186円</p>
課題	<p>「就労中のため受診する時間がない」等の理由で受診率が低い傾向にあるため、未受診者への個別通知や市報掲載による広報を行った。26年度と比較しても、受診者数が伸びた。</p>

(5) がん検診事業

目的	<p>がんの早期発見・早期治療及びがんに対する意識の高揚を図ることを目的に実施するもので、受診勧奨の徹底等で病状の重症化を抑制するとともに、医療費の軽減を図る。</p> <p>また、がん検診推進事業（国庫補助）を実施し、検診料を無料にして受診率が低迷している若い世代の子宮がん、乳がん及び大腸がん検診機会の普及を図る。</p>																																																																																		
平成27年度実績	<p>《平成27年度総合がん検診》 (平成28年1月末現在)</p> <table border="1" data-bbox="279 504 1410 1070"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検診項目</th> <th rowspan="2">対象者(人)</th> <th rowspan="2">申込者(人)</th> <th rowspan="2">受診者(人) 【①H26受診者数 ②2年連続受診者数】</th> <th rowspan="2">受診率(%)</th> <th colspan="5">精密検査結果(人)</th> <th rowspan="2">H26年度受診率(確定)</th> </tr> <tr> <th>がん</th> <th>がん疑い</th> <th>その他</th> <th>異常なし</th> <th>未受診</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃</td> <td>9,856</td> <td>1,757</td> <td>1,123</td> <td>11.4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>94</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>子宮</td> <td>6,833</td> <td>1,619</td> <td>852 【①1223 ②0】</td> <td>30.4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>30.7</td> </tr> <tr> <td>乳</td> <td>6,088</td> <td>1,197</td> <td>972 【①1056 ②0】</td> <td>33.3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>30</td> <td>17</td> <td>9</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td>大腸</td> <td>9,856</td> <td>3,001</td> <td>2,393</td> <td>24.3</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>33</td> <td>21</td> <td>5</td> <td>24.4</td> </tr> <tr> <td>肺</td> <td>9,856</td> <td>2,870</td> <td>2,175</td> <td>22.1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>33</td> <td>21</td> <td>5</td> <td>22.3</td> </tr> <tr> <td>前立腺</td> <td>3,768</td> <td>1,408</td> <td>1,070</td> <td>28.4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>30</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>29.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者は、「推計対象者数」を用いて算出している。 【胃、大腸、肺がん対象者数】＝全人口（40歳以上）－就業者数＋農林水産従事者数 【子宮頸がん対象者数】＝全人口（20歳以上の女性）－就業者数＋農林水産従事者数 【乳がん対象者数】＝全人口（40歳以上の女性）－就業者数＋農林水産従事者数 【前立腺がん対象者数】＝全人口（40歳以上の男性）－就業者数＋農林水産従事者数 乳・子宮頸がん検診は2年に1回の受診となっているため、受診率は「2年度分の受診者数から2年連続の受診者数を引いた数」で算出している。</p> <p>* 受診者増を目指し、広報車で検診日前日に対象地区を巡回した。また市報・班回覧・防災無線・ホームページ・行政放送等を活用し、受診勧奨を行った。</p> <p>* 前年度から開始した子宮頸がん検診の個別検診の受診者数は40名増加し、20代から40代の若い世代の受診割合も約3割増加した。</p> <p>* 前年度から参加している県の職域大腸がん検診促進事業の受診者は、今年度21名と増加し、働き世代の対象者の受診機会が増えている。</p>	検診項目	対象者(人)	申込者(人)	受診者(人) 【①H26受診者数 ②2年連続受診者数】	受診率(%)	精密検査結果(人)					H26年度受診率(確定)	がん	がん疑い	その他	異常なし	未受診	胃	9,856	1,757	1,123	11.4	1	0	94	6	14	12.2	子宮	6,833	1,619	852 【①1223 ②0】	30.4	1	0	8	0	2	30.7	乳	6,088	1,197	972 【①1056 ②0】	33.3	2	0	30	17	9	33.0	大腸	9,856	3,001	2,393	24.3	9	4	33	21	5	24.4	肺	9,856	2,870	2,175	22.1	1	3	33	21	5	22.3	前立腺	3,768	1,408	1,070	28.4	1	0	30	0	6	29.1
検診項目	対象者(人)						申込者(人)	受診者(人) 【①H26受診者数 ②2年連続受診者数】	受診率(%)	精密検査結果(人)					H26年度受診率(確定)																																																																				
		がん	がん疑い	その他	異常なし	未受診																																																																													
胃	9,856	1,757	1,123	11.4	1	0	94	6	14	12.2																																																																									
子宮	6,833	1,619	852 【①1223 ②0】	30.4	1	0	8	0	2	30.7																																																																									
乳	6,088	1,197	972 【①1056 ②0】	33.3	2	0	30	17	9	33.0																																																																									
大腸	9,856	3,001	2,393	24.3	9	4	33	21	5	24.4																																																																									
肺	9,856	2,870	2,175	22.1	1	3	33	21	5	22.3																																																																									
前立腺	3,768	1,408	1,070	28.4	1	0	30	0	6	29.1																																																																									
課題	<p>* 受診率は、乳がん検診を除く全ての検診において昨年より低下した。</p> <p>低下の要因として、事前調査表の回収率が前年度より2%程度低下し、その分がん検診の受診勧奨できなかったことが考えられる。</p> <p>次年度は回収率を改善するため、行政放送や行政嘱託員会で呼びかけを行う。また市の検診を希望しない住民の中に、他の機関等で検診を受けている者がどのくらいいるのか事前調査を行い、受診勧奨が必要な対象把握に努める。</p> <p>* 毎年各種がん検診から1件以上のがんが発見されている中で、精密検査の未受診者も多いため、受診勧奨を行い早期発見・早期治療につなげていく。</p>																																																																																		

《新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（平成 27 年度補助事業：国 1/2）》

対象者：①子宮頸がん検診 20 歳 ②乳がん検診 40 歳
（平成 28 年 1 月末現在）

	対象者	受診者	受診率(%)		H26年度 受診率(確定)
			うち個別受診者		
20歳	131	14	13	10.7	16.3
40歳	143	37	14	25.9	30

《働く世代の女性支援のためのがん検診未受診者対策緊急支援事業

（平成 27 年度補助事業：国 1/2）》

対象者：①子宮頸がん検診 平成 25 年度の無料クーポン券未利用者

（平成 28 年 1 月末現在）

	対象者	受診者	受診率(%)	
			うち個別受診者	
22歳	116	9	9	7.8
27歳	85	7	7	8.2
32歳	93	5	5	5.4
37歳	107	12	9	11.2
合計	401	33	30	8.2

クーポン券を利用しない理由
（自己申告有り）
・他の病院で受診した 2名
・職場検診で受診した 1名

②乳がん検診 平成 25 年度の無料クーポン券未利用者

（平成 28 年 1 月末現在）

	対象者	受診者	受診率(%)	
			うち個別受診者	
42歳	118	16	10	13.6
47歳	116	6	3	5.2
52歳	99	10	4	10.1
57歳	116	11	9	9.5
合計	449	43	26	9.6

クーポン券を利用しない理由
（自己申告有り）
・職場検診で受診した 3名
・定期通院中 1名
・長期入院中 1名

《がん検診推進事業（平成 27 年度補助事業：国 1/2）》

対象者：大腸がん検診 40 歳から 60 歳までの 5 歳刻みの年齢の者

（平成 28 年 1 月末現在）

	対象者	受診者	受診率(%)	
			受診率(%)	H26年度 受診率(確定)
40歳	305	48	15.7	16.8
45歳	289	32	11.1	12.7
50歳	329	51	15.5	13.3
55歳	415	73	17.6	19.1
60歳	469	118	25.2	25.8
合計	1807	322	17.8	18.7

クーポン券を利用しない理由
（自己申告有り）
・職場検診で受診した 21名
・病院で受診した 5名
・人間ドックで受診 4名
・便秘で検査不能 1名

*対象者へ無料クーポン券を交付し、子宮頸がん検診と乳がん検診については集団検診の他に医療機関での個別検診も実施し、大腸がん検診は集団検診単独で実施した。

*市報、行政放送等を活用し、がん検診推進事業の周知、受診勧奨を実施した。

*未受診者に対してハガキにて受診勧奨を実施した。

平成
27
年度
実績

課
題

*受診勧奨のために、今年度は乳がん検診クーポン券に市の検診で乳がんが発見された 40 代の市民の方の体験談を同封し送付したが、受診者増にはつながらなかった。両検診とも受診率は昨年度より低下した。
受診行動に繋がるような、周知・勧奨を引き続き工夫して行っていく必要がある。

*大腸がん検診の受診率は昨年度より低下した。低下の一要因として、昨年度まで乳がん検診と大腸がん検診の無料クーポン券の対象年齢と大腸がん検診の対象年齢が重複していたが、今年度からは重複がなくなったためと考えられる。
県の職域大腸がん検診促進事業による受診者増を期待していたが、5名という結果であった。

(6) 肝炎ウイルス検診事業

目的	<p>肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け、医療機関に受診することにより、肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させることを目的に実施する。また、個別勧奨メニュー事業（国庫補助）を追加し、個別に節目対象者への受診勧奨通知をし、若い世代への検診機会の普及を図った。</p>																																																																
平成27年度実績	<p>《平成27年度肝炎ウイルス検診受診者内訳》</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>9/6（日）</th> <th>9/13（日）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数（人）</td> <td style="text-align: center;">61</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">104</td> </tr> </tbody> </table> <p>（検診結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常なし 100名 ・要精密 4名（HBs抗原陽性者4名 HCV抗体陽性者1名※重複者あり） <p>《平成27年度個別勧奨メニュー対象者内訳》</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者（人）</th> <th>受診者数（人）</th> <th>受診率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40歳</td> <td style="text-align: center;">218</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> </tr> <tr> <td>45歳</td> <td style="text-align: center;">183</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> </tr> <tr> <td>50歳</td> <td style="text-align: center;">190</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> </tr> <tr> <td>55歳</td> <td style="text-align: center;">227</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">6.2</td> </tr> <tr> <td>60歳</td> <td style="text-align: center;">217</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">1,035</td> <td style="text-align: center;">54</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>《肝炎ウイルス検査未受検状況（H28年2月22日現在）》</p> <div style="text-align: center;"> <p>肝炎ウイルス検査の未受診者割合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>肝炎ウイルス検査の未受診者割合 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>ウイルス種別</th> <th>性別</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">HBV</td> <td>男性</td> <td>64.8%</td> <td>57.3%</td> <td>43.9%</td> <td>28.9%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>54.2%</td> <td>45.7%</td> <td>33.6%</td> <td>23.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">HCV</td> <td>男性</td> <td>64.9%</td> <td>56.0%</td> <td>41.9%</td> <td>24.8%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>54.2%</td> <td>44.5%</td> <td>30.9%</td> <td>19.6%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>*受診者情報については、市の集団検診・妊婦健診・人間ドック（国保・一般）・自己申告と県の事業による情報（職域健診・医療機関無料検査・保健福祉事務所検査）を管理している。</p>	実施日	9/6（日）	9/13（日）	合計	受診者数（人）	61	43	104		対象者（人）	受診者数（人）	受診率（%）	40歳	218	13	6.0	45歳	183	10	5.5	50歳	190	5	2.6	55歳	227	14	6.2	60歳	217	12	5.5	合計	1,035	54	5.2	ウイルス種別	性別	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	HBV	男性	64.8%	57.3%	43.9%	28.9%	女性	54.2%	45.7%	33.6%	23.9%	HCV	男性	64.9%	56.0%	41.9%	24.8%	女性	54.2%	44.5%	30.9%	19.6%
実施日	9/6（日）	9/13（日）	合計																																																														
受診者数（人）	61	43	104																																																														
	対象者（人）	受診者数（人）	受診率（%）																																																														
40歳	218	13	6.0																																																														
45歳	183	10	5.5																																																														
50歳	190	5	2.6																																																														
55歳	227	14	6.2																																																														
60歳	217	12	5.5																																																														
合計	1,035	54	5.2																																																														
ウイルス種別	性別	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上																																																												
HBV	男性	64.8%	57.3%	43.9%	28.9%																																																												
	女性	54.2%	45.7%	33.6%	23.9%																																																												
HCV	男性	64.9%	56.0%	41.9%	24.8%																																																												
	女性	54.2%	44.5%	30.9%	19.6%																																																												

<p>課 題</p>	<p>*昨年度は4回実施したが、今年度は日曜に2回と日程を減らして実施。受診者は118人（平成26年度）→104人（平成27年度）とやや減少した。今年度の職域健診での受診者は139名（12月分まで）、医療機関での受診者数は175名（10月分まで）となっている。肝炎ウイルス検査は一生に一度の検査でよいと言われているため、受診者は減少していくことが予測されるが、未受診者も多いため対象者が検査の必要性を理解できるように受診勧奨していく。</p> <p>*肝炎ウイルス検査受診済みであるが、検査結果を忘れている受診者もいる。検査後の説明を徹底していく必要がある。妊婦健診・人間ドックでも肝炎ウイルス検査は実施されているが、病院等で肝炎ウイルス検査結果についてどこまで説明されているかは不明である。</p> <p>*市の集団検診では年2回の実施であり受診機会も少ないため、医療機関等での受診も勧めていく。（昨年同様、通知の中に県の医療機関無料検査のチラシを同封した。）</p> <p>*今年度の市の集団検診での陽性者については、説明と受診勧奨を行っておりすべて精密検査受診済みである。しかし、肝炎ウイルス陽性であるにも関わらず、精密検査を受診せず放置している者も多い。陽性者の精密検査受診勧奨も積極的に行っていく。</p>
----------------	--

(7) 歯周疾患検診事業

目的	平成22年度までは特定健診の集団検診の中で実施してきたが、集団検診がなくなったこともあり、40歳・50歳・60歳・70歳の節目の方を対象に、健康増進事業の一環として歯周疾患の個別検診を実施することにより、歯の健康への意識付けを行うとともに、歯周病を予防し食べる楽しみを享受できるようにした。
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> *対象者 40歳・50歳・60歳・70歳の節目の方 *対象経費 指定医療機関（歯科医）での歯周疾患検診に要した費用 *交付枚数 1,382枚 *受診期間 平成27年5月から11月まで（7ヶ月間） *受診者数 140人（受診率10.1%；前年比+0.6%） *助成額 919,240円（委託単価：6,566円/人）
課題	<ul style="list-style-type: none"> *今年度は受診者が前年度より3人増、受診率は0.6%上昇となったがまだ受診者が少ない状況にある。年齢別に受診率をみると、40歳は8.3%、50歳は9.4%、60歳10.8%、70歳11.9%という結果で、若いほど受診率が低くなっている。 *歯周疾患は糖尿病や心筋梗塞等の全身疾患に関連している上、歯の喪失原因の第1位であるため、早いうちから予防のための定期受診が重要である。働く世代が対象であるため、受診勧奨についても工夫していかななくてはならない。

(8) ピロリ菌感染検査事業

目的	市内で悪性新生物による死亡の原因で多い傾向にあるのが胃がんである。その胃がんの発生に深く関わっているのが食生活の習慣とともにピロリ菌であることも実証されてきている。そのため、体の健康を意識しはじめる30歳以上50歳未満の者、また健康づくり健診受診者に対してピロリ菌感染検査の費用助成を行い、若い世代からの健康への意識付けを図り、将来の医療費の軽減につなげる。
平成27年度実績	<p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> *対象者 満30歳以上50歳未満の者 *検査方法 委託医療機関での個別検査（尿素呼気試験法） *助成額及び回数 検査回数 検査年度内に1回 助成額 検査1回につき7,000円 *受診者数 30人（H28年1月分まで）（前年度47人） *助成額 210,000円 <p>【集団検診（健康づくり健診）】</p> <ul style="list-style-type: none"> *対象者 満18歳以上40歳未満の者 *検査方法 ABC検査 *助成額 3,000円 *受診者数 64人（健康づくり健診受診者119人中） （前年度ピロリ菌抗体検査受診者156人）
課題	<ul style="list-style-type: none"> *今年度より助成額を5,000円から7,000円へ増額している。助成対象開始となる30歳と助成対象の最後となる49歳でピロリ菌検査未受診者への個人通知を行うことで受診者はやや増加したが、全体の受診者は昨年比に減少した。市報及びホームページ掲載、班回覧、集会等での呼びかけも行ったが、受診者は伸び悩んだ。 *健康づくり健診では昨年まではピロリ菌抗体検査を行っていたが、今年度よりABC検査を導入した。ABC検査の受診者は昨年のピロリ菌抗体検査に比べ大幅に減少している。前年度ピロリ菌検査を受けた者44名は対象外としたためと考えられる。（ピロリ菌感染は成人ではほとんどないと言われている。）ABC検査の有効性・必要性を示し、受診勧奨していく必要がある。

(9) 健康づくり健診事業

<p>目的</p>	<p>会社等で定期健康診断を受ける機会のない18歳以上40歳未満の若い世代に健康診査を実施し、疾病の早期発見・早期治療による重症化の防止と健康への意識付けを図り、若い世代からの生活習慣病等の予防への関心を高め、健康づくり推進の街づくりの実現を図る。</p>																																																					
<p>平成27年度実績</p>	<p>*対象者 18歳以上40歳未満の健康診断を受ける機会のない者 *健診内容 特定健康診査と同様・歯科健診（希望者のみ） *申込者 341人 *受診者 119人（前年比 -59人）</p> <table border="1" data-bbox="336 607 1158 741"> <tr> <th>実施日</th> <th>9/6（日） 塩田保健センター</th> <th>9/13（日） 嬉野市公会堂</th> <th>合計</th> <th>H26年度</th> </tr> <tr> <td>受診者数（人）</td> <td>64</td> <td>55</td> <td>119</td> <td>178</td> </tr> </table> <p>*検診結果 ・異常なし 75名 ・要精密者 44名 要精密検査項目内容 ※尿検査異常の8名は月経中によるもの。</p> <table border="1" data-bbox="751 943 1259 1296"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平成27年度</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脂質</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>尿蛋白潜血</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>肝機能</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>血圧</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>腎機能</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>貧血</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>尿酸</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>血糖値</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>*保健指導について ・積極的支援 2名 → 2名とも保健指導実施。 ・動機づけ支援 8名 → 6名へ保健指導実施。2名は結果郵送。 ・情報提供 106名 → 情報提供のうち、要精密検査者37名。 そのうち27名に保健指導実施。10名は結果郵送。</p>	実施日	9/6（日） 塩田保健センター	9/13（日） 嬉野市公会堂	合計	H26年度	受診者数（人）	64	55	119	178		平成27年度			男	女	計	脂質	11	11	22	尿蛋白潜血	0	10	10	肝機能	4	0	4	血圧	4	3	7	腎機能	0	2	2	貧血	0	0	0	尿酸	2	0	2	血糖値	0	0	0	計	21	26	47
実施日	9/6（日） 塩田保健センター	9/13（日） 嬉野市公会堂	合計	H26年度																																																		
受診者数（人）	64	55	119	178																																																		
	平成27年度																																																					
	男	女	計																																																			
脂質	11	11	22																																																			
尿蛋白潜血	0	10	10																																																			
肝機能	4	0	4																																																			
血圧	4	3	7																																																			
腎機能	0	2	2																																																			
貧血	0	0	0																																																			
尿酸	2	0	2																																																			
血糖値	0	0	0																																																			
計	21	26	47																																																			
<p>課題</p>	<p>*受診者は昨年度より59人減。昨年度、日曜日に実施し受診者が増加したため、今年度は両日日曜日に実施した。9月13日（日）は、小中学校との体育祭と重なり受診数も減少したことも予想される。次年度は行事等の確認の上、両日日曜日に計画している。 *昨年度は希望者にはピロリ菌検査を無料で実施したが今年度よりABC検査（1,000円徴収）へ変更。昨年度ピロリ菌検査受診者は今年度のABC検査は対象外とした。ABC検査の有効性・必要性を示し、受診率向上を目指す。 *若い世代でも脂質異常症や高血圧、肝機能異常等の生活習慣病の徴候が見受けられる。早い段階で生活習慣の改善を行い、将来の生活習慣病の発症と重症化を予防することが重要となるため、保健指導を実施できるよう調整していく。</p>																																																					

(10) 脳ドック費用助成事業

目的	脳血管疾患やその他疾患の早期発見と予防のため、脳ドックにかかる費用の一部を助成することにより、市民の健康の保持及び増進を図る。																																																								
平成27年度実績	<p>*対象者 市内に住所を有し、検査年度に満40歳以上65歳以下の者</p> <p>*実施機関 委託医療機関 3ヶ所</p> <p>*助成額 実施機関における検査料の80% (限度額は25,000円/人)</p> <p>*定員 嬉野医療センター 50人 うれしのふくだクリニック 20人 織田病院 30人</p> <p>*申込者 100人</p> <p>*受診者 86人 (平成28年2月末現在)</p> <p>*検査結果 (人)</p> <table border="1" data-bbox="352 741 1401 1182"> <thead> <tr> <th></th> <th>異常なし</th> <th>要指導</th> <th>要観察</th> <th>要精密</th> <th>要治療</th> <th>治療中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>頭部MRI</td> <td>41</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>脳血管MRA</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>頰動脈エコー</td> <td>35</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>血糖</td> <td>80</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>脂質</td> <td>32</td> <td>5</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>血圧</td> <td>41</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>総合判定</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>28</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>		異常なし	要指導	要観察	要精密	要治療	治療中	頭部MRI	41	9	15	11	8	2	脳血管MRA							頰動脈エコー	35	17	21	1	10	2	血糖	80	0	0	2	2	2	脂質	32	5	23	0	9	17	血圧	41	10	13	0	5	17	総合判定	6	6	28	9	13	24
	異常なし	要指導	要観察	要精密	要治療	治療中																																																			
頭部MRI	41	9	15	11	8	2																																																			
脳血管MRA																																																									
頰動脈エコー	35	17	21	1	10	2																																																			
血糖	80	0	0	2	2	2																																																			
脂質	32	5	23	0	9	17																																																			
血圧	41	10	13	0	5	17																																																			
総合判定	6	6	28	9	13	24																																																			
課題	*受診者86名中、異常なしは6名という結果でした。要精密・要治療者の割合は、25.5%で脳ドックの受診が、動脈瘤や脳梗塞、虚血性病変等の発見のきっかけとなっている。また、脂質異常や高血圧の所見があった者の割合も高く、できるだけ早い段階で生活習慣の改善に取り組む必要がある。																																																								

(11) 健康長寿の人間ドック費用助成事業

目的	生活習慣病やその他の病気の早期発見と予防のため、人間ドックにかかる費用の一部を助成することにより、市民の健康の保持及び増進を図る。																																																																																										
平成27年度実績	<p>*対象者 市内に住所を有し、検査年度に満30歳以上65歳以下の者 *実施機関 市内の12医療機関 *助成額 実施機関における検査料の80% (限度額は34,500円/人) *申込者 100人 *受診者 68人 (平成28年2月末現在) *検査結果</p> <table border="1" data-bbox="352 629 1422 1509"> <thead> <tr> <th></th> <th>異常なし</th> <th>要指導</th> <th>要観察</th> <th>要精密</th> <th>要治療</th> <th>治療中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体計測</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>眼底</td> <td>24</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>心電図</td> <td>54</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>胸部X線</td> <td>52</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>肺機能</td> <td>47</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>腎・尿</td> <td>48</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>便</td> <td>65</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>血液</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胃</td> <td>X線</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>内視鏡</td> <td>7</td> <td>20</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>腹部超音波</td> <td>27</td> <td>15</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>総合判定</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>24</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		異常なし	要指導	要観察	要精密	要治療	治療中	身体計測	30	9	19	0	5	5	眼底	24	2	1	4	0	0	心電図	54	8	5	1	0	0	胸部X線	52	2	6	8	0	0	肺機能	47	14	4	1	0	0	腎・尿	48	13	4	2	1	0	便	65	1	0	1	1	0	血液	20	16	16	6	4	6	胃	X線	5	0	0	4	0	内視鏡	7	20	14	6	12	腹部超音波	27	15	19	5	1	1	総合判定	2	8	24	9	15	10
	異常なし	要指導	要観察	要精密	要治療	治療中																																																																																					
身体計測	30	9	19	0	5	5																																																																																					
眼底	24	2	1	4	0	0																																																																																					
心電図	54	8	5	1	0	0																																																																																					
胸部X線	52	2	6	8	0	0																																																																																					
肺機能	47	14	4	1	0	0																																																																																					
腎・尿	48	13	4	2	1	0																																																																																					
便	65	1	0	1	1	0																																																																																					
血液	20	16	16	6	4	6																																																																																					
胃	X線	5	0	0	4	0																																																																																					
	内視鏡	7	20	14	6	12																																																																																					
腹部超音波	27	15	19	5	1	1																																																																																					
総合判定	2	8	24	9	15	10																																																																																					
課題	<p>*6月に受付を開始し、二度の募集により定員に達した。 平成28年1月20日現在で28名が未受診及び未予約であったため、文書にて受診勧奨を行い、その後更に電話により受診状況の確認を行った。 申請時に早めの受診を呼びかけているが、未受診の確認、受診勧奨をもう少し早い時期に行う必要があった。</p>																																																																																										

(12) 自殺対策事業

※地域自殺対策強化事業

<p>目的</p>	<p>自殺対策を総合的に推進して、自殺についての正しい知識の普及を図るとともに、命の大切さ、自殺の危険を示すサインに気づいた時の対応等について理解を深め、自殺予防についての普及啓発を進める。</p>																																																																							
<p>平成27年度実績</p>	<p>事業実施内容</p> <p>1. 相談支援従事者研修</p> <table border="1" data-bbox="284 555 1409 880"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>対 象</th> <th>受講者数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.10.9</td> <td>五町田地区地域コミュニティ</td> <td>45名</td> <td>講演会 テーマ 「心がかぜをひくとき」 講師 西九州大学非常勤講師 吉村 春生 先生</td> </tr> <tr> <td>H27.10.9</td> <td>塩田地区</td> <td>66名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27.11.20</td> <td>嬉野地区</td> <td>90名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 相談支援事業</p> <p>こころの相談（社会福祉協議会主催） 毎月第4月曜日午後 精神科医師 こころの健康相談 毎月第2木曜日午前中 保健師</p> <p>3. こころの訪問相談</p> <p>精神保健福祉士による訪問相談 本人の要望にあわせて対応延べ1件 精神疾患ありだが不安定で自殺のリスクの高い方</p> <table border="1" data-bbox="284 1261 1458 1361"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. こころの体温計</p> <p>パソコンや携帯電話を用いて自己のメンタルチェックができるソフトの導入 アクセス件数</p> <table border="1" data-bbox="284 1552 1458 1749"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3019</td> <td>2341</td> <td>1499</td> <td>1188</td> <td>1436</td> <td>1209</td> <td>1322</td> <td>1933</td> <td>1036</td> <td>1293</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*H26年12月から「本人モード」「家族モード」「赤ちゃんママモード」「ストレスタイプ」に、「アルコールモード」と「満足度調査」を追加した。満足度調査12月から実施。</p>										月 日	対 象	受講者数	内 容	H27.10.9	五町田地区地域コミュニティ	45名	講演会 テーマ 「心がかぜをひくとき」 講師 西九州大学非常勤講師 吉村 春生 先生	H27.10.9	塩田地区	66名		H27.11.20	嬉野地区	90名		月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	件数	1回	1回	2回	3回	1回	2回	2回			月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	件数	3019	2341	1499	1188	1436	1209	1322	1933	1036	1293		
月 日	対 象	受講者数	内 容																																																																					
H27.10.9	五町田地区地域コミュニティ	45名	講演会 テーマ 「心がかぜをひくとき」 講師 西九州大学非常勤講師 吉村 春生 先生																																																																					
H27.10.9	塩田地区	66名																																																																						
H27.11.20	嬉野地区	90名																																																																						
月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																															
件数	1回	1回	2回	3回	1回	2回	2回																																																																	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																												
件数	3019	2341	1499	1188	1436	1209	1322	1933	1036	1293																																																														
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援従事者研修会ではコミュニティと、子育て従事者を対象に計3回実施した。内容は満足していただいたが、より多くの方に聞いていただけるように周知を工夫する必要がある。 訪問相談は、対象者の把握と、訪問してもらう精神保健福祉士の確保が困難。 																																																																							

(13) 食育推進事業

目的	食に関する適切な知識の習得と実践で、生涯に亘っての正しい食習慣の実現により、健康の保持増進と生活習慣病の予防を目的として行った。
平成27年度実績	<p>1. 嬉野市食育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●嬉野市食育推進会議 3回 ①5月12日 12人 ②9月10日 12人 ③2月19日 12人 嬉野市食育推進計画に沿った保健、医療、教育、農業等の専門分野における食育の検討と推進を行った。また、計画が実施されてから3年目となることから計画の見直しを行った。 ●楽しく役立つ食育講座 1回 食に関する知識を身につけるとともに、食べ物やそれを料理してくれる人への感謝の気持ちを育てる「子どもが作る弁当の日」の取組みについて、理解を深めてもらうため講演会を実施。 対象：市内小・中学校 PTA および学校長・学校関係者 内容：7月24日（金）89人 食育講演会「子どもが作る弁当の日」 <p>2. 食生活改善推進員教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●栄養教室 昼間の部 7回 延べ170人（申込32人 修了率78.1%） 夜間の部 5回 延べ85人（申込17人 修了率35%） 食生活や健康づくりの基礎知識及び生活習慣病予防等について学び、実践しながら地域で食のボランティア活動を行う食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成した。 <p>3. ライフステージ別食育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●親子ふれあい食育教室 4回 延べ107人（参加率89.2%） 料理をする楽しさを通して、食育について親子で楽しく体験された。 ●はつらつ料理教室 塩田地区 4回 延べ87人（申込32人 参加率68.0%）※介護予防対象者を含む 嬉野地区 4回 延べ115人（申込35人 参加率82.1%）※介護予防対象者を含む 高齢者の心身の健康づくり、認知症や寝たきり等要介護状態になることを予防し、健康で自立した生活ができることを目的に、講話や調理実習を行った。 <p>4. 食生活改善地区組織活動事業（数値はH28.2.8現在）</p> <p>食生活改善推進員（ヘルスマイト）は、健康づくり及び栄養・食生活改善を推進するボランティア組織であり、市が行う食育の推進や健康づくり等を、食を通じた活動で支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食生活改善普及講習会 35回 501人（地区公民館や保健センター） ●親子料理教室・食育教室 13回 579人（今年度あと2回予定） ●メンズクッキング教室 4回 101人 ●地域の特産品普及 1回 13人（大野原小お茶料理と郷土料理） ●健康ウォーキング大会 ※3月14日開催予定（みゆき公園コース） ●愛の一皿運動 ※1,000回程度予定（独居高齢者、身障者等） ●対話や訪問による普及活動 ※15,000回 30,000人（延人数）程度予定 ●集会での普及活動 ※5,000回 15,000人（延人数）程度予定 ●会員学習会 10回 299人（今年度あと1回予定） <p><県協議会事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯骨太クッキング 2回 57人 ※嬉野、塩田各1回 ○国産鶏肉講習会 1回 34人 ※塩田地区 ○ロコモ予防健康講習会 1回 31人 ※嬉野地区 ○おやこの食育教室 1回 37人（塩田小学校6年生）

(14) 特定健診・特定保健指導

<p>目的</p>	<p>内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を行う。早期介入し生活習慣の改善のための行動変容につなげ、内臓脂肪型肥満から起こりやすい糖尿病、高血圧、脂質異常の予防と重症化予防を図る。</p>										
<p>平成27年度実績</p>	<p> 《特定健康診査》 1. 実施期間 平成27年7月1日～8月30日 平成27年10月14日～10月31日（未受診者健診） 2. 受診形態 個別健診（県内の特定健診実施医療機関にて） 3. 対象者数 4,906人（嬉野市国民健康保険加入者で40歳～74歳以下の者） 4. 受診者数 1,937人 5. 受診率 (速報値) <table border="1" data-bbox="339 680 1066 779"> <thead> <tr> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>38.4%</td> <td>41.0%</td> <td>40.7%</td> <td>39.2%</td> <td>40.0%</td> </tr> </tbody> </table> 6. 未受診者対策 今年度40歳になる方に対し、電話で受診勧奨と特定健診の必要性について説明。 昨年度積極的支援の対象者で今年度の健診未受診の方に対し、未受診者健診の前に電話で受診勧奨。 《二次健診》 1. 対象者 保健指導利用者で、HbA1c5.6%以上6.4%(NGSP値)以下または空腹時血糖値100mg以上125mg以下の受診希望者 2. 健診内容 *75g糖負荷試験 *頰動脈超音波検査 *微量アルブミン尿検査 3. 受診者数 35人 《特定保健指導》 1. 実施時期 平成27年7月下旬～ 2. 対象者数と利用者数 保健指導については、平成27年度分はまだ殆ど終了していない為、平成26年度分について主に報告する。 平成26年度特定健診受診者のうち、特定保健指導の対象者となった者の割合は10.3%であり、そのうち特定保健指導の初回面接を終了した者の割合は62.5%で、終了率は55.5%である。平成27年度については、特定保健指導の対象者となった者の割合は、8.5%であり、そのうち特定保健指導の初回面接終了した者の割合は66.7%である。 </p>	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	38.4%	41.0%	40.7%	39.2%	40.0%
H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度							
38.4%	41.0%	40.7%	39.2%	40.0%							

平成 27 年度 実績	(H26 年度)	動機づけ支援	積極的支援	合計
	対象者数	156 人	44 人	200 人
	初回面接終了者数 (実施率)	105 人 (67.3%)	20 人 (45.5%)	125 人 (62.5%)
	終了者 (実施率)	93 人 (59.6%)	18 人 (40.9%)	111 人 (55.5%)
	特定保健指導対象外の高血圧、高血糖、脂質異常、腎機能低下等の重症化ケースについては保健師、管理栄養士による訪問指導を実施。			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度受診率は平成 25 年度受診率より下降した。また、目標 (42%) にも到達していない。 ・40～50 代の男女、60～64 歳男性の受診率が低い。 ・特定保健指導対象者には保健指導の案内通知を送付するが、送付後申し込みがあったのは数名程度。今後も、積極的な利用勧奨を続けていくことと、医療機関からの協力を得る必要がある。また、保健指導の途中脱落者を今後減らしていくよう支援していきたい。 			